

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-85	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 304	小学生の音楽 3		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるように、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に進めることができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

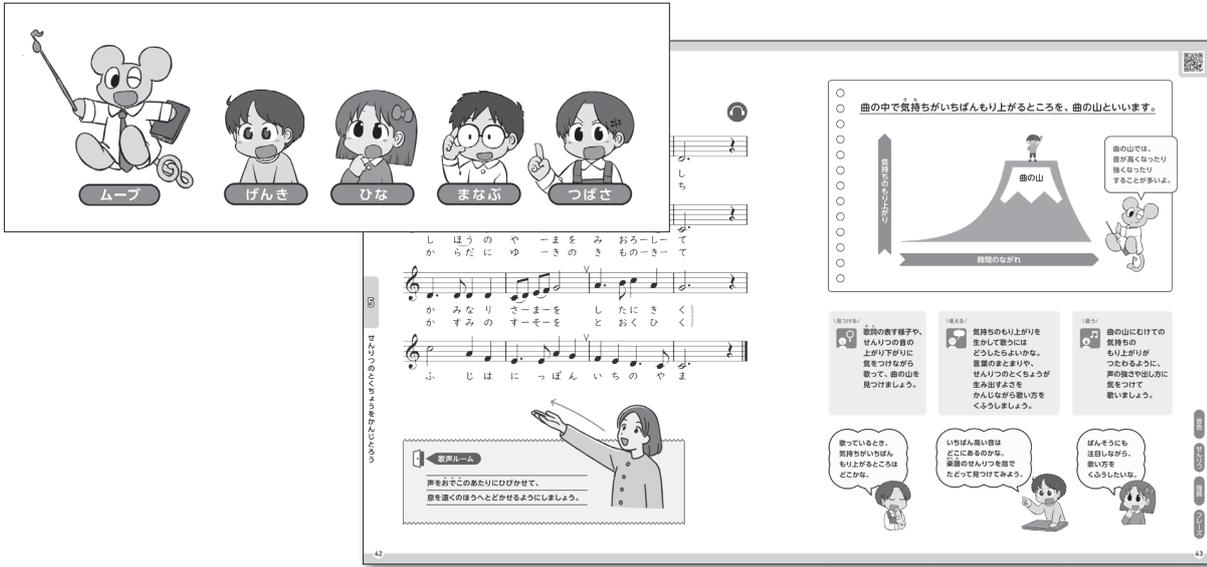


身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に活かせるような人間に育ててほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

1 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。



P.42・43

② 魅力あふれる教材や学習活動によって、ワクワク感を引き出します。

協働的な学びを深められるように学習内容や紙面構成を工夫し、子どもたちが音楽活動を楽しみながら、主体的に学習に取り組むことができるように配慮しました。



P.20・21

リコーダーという楽器そのものへの興味・関心を引き出すとともに、音遊びの活動を行うことで、音色に親しみながらリコーダーの学習をスタートさせることができます。

打楽器の音色に親しむとともに、「時間の流れ」を意識しながら、友達と一緒に音楽をつくります。



P.58・59

2 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

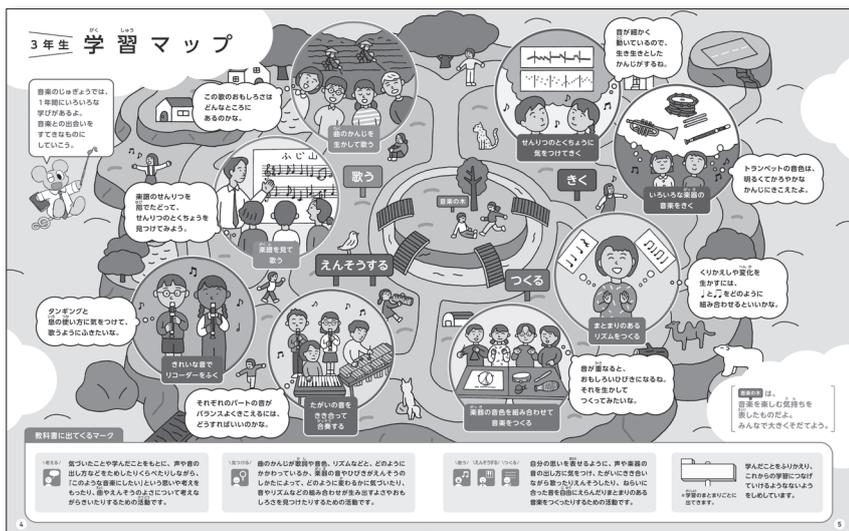
1 学習内容を見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のアイコンを示しました。

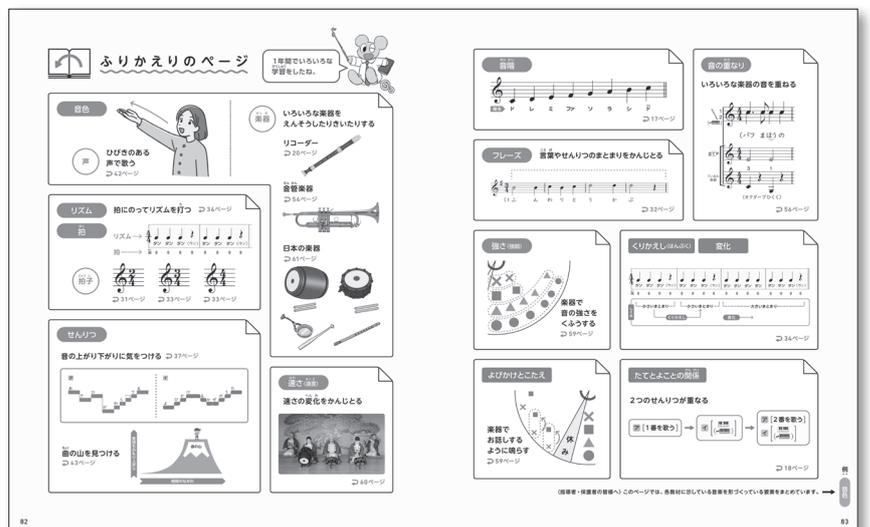


2 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.4・5



P.82・83

3 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

1 郷土の音楽のよさに親しむ。

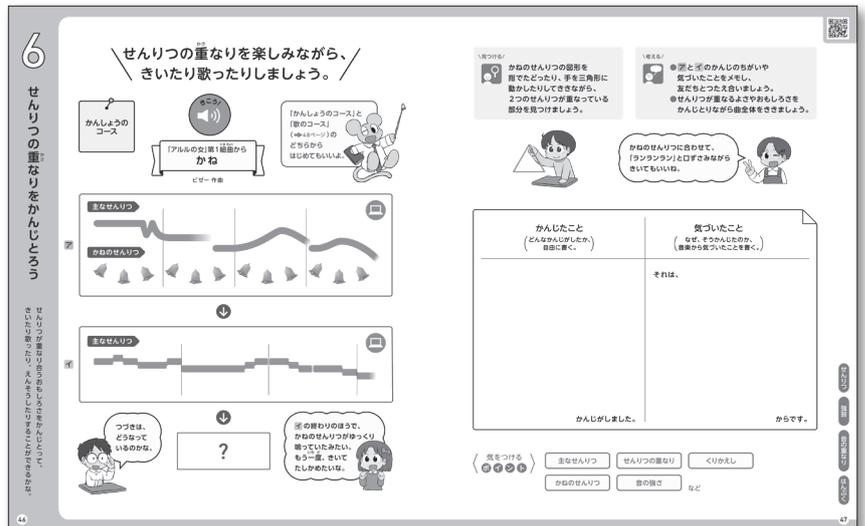
次世代の音楽文化や地域文化を担う子どもたちの育成という観点から、地域に伝わる音楽の取り上げ方を工夫し、郷土の音楽を身近に感じながら鑑賞することができる教材を取り上げました。



P.60 ~ 63

2 音楽的視野や価値観を広げる。

気付いたことを伝え合ったり、つくった作品を発表し合ったりする活動を通して、対話的な学びを進め、音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができるように配慮しています。また、友達の考え方に触れる中で、多様な考えを尊重する気持ちも育みます。



P.46・47

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるよう、すぐに開くことができる最終ページに配置しました。

国歌「君が代」の歌詞にある「さざれ石」について説明し、歌詞を覚えて歌う学習を支えます。



P.86・87

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽で心をつなげよう	自然にまつわる歌や詩情豊かな歌を声を合わせて歌う学習を通して、豊かな情操を養えるようにしました。(第一号)	P.8 ~ 14
	常時活動としてリズムに関する基礎的な学力を継続的に育成することのできる学習活動を設定しました。(第一号)	P.9
	「茶つみ」に関連して「手遊び」のコーナーや「新茶のお話」などを掲載し、我が国の文化について学習できるようにしました。(第五号)	P.15
②歌って音の高さをかんじとろう	音高を歌や楽器で確かめながら学習を進められる教材を掲載し、基礎的な事項を音楽活動に関連させて学ぶことができるようにしました。(第一号)	P.16 ~ 19
③リコーダーのひびきに親しもう	リコーダーの音色や演奏に興味・関心をもち、主体的に演奏技術を習得できるように教材を工夫しました。(第一号)	P.20 ~ 29
④拍にのってリズムをかんじとろう	リズムの反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる学習活動を設定し、興味・関心に応じて、活動を広げられるように配慮しました。(第二号)	P.34・35
⑤せんりつのとくちょうをかんじとろう	旋律の音高の上下から、旋律の特徴や「曲の山」を感じ取ることができるよう絵譜やイラストを工夫しました。(第一号)	P.37、39、43
	「ふじ山」に関連して、日本を代表する山である富士山を誇りに思う気持ちや、その自然を大切にすることを育てできるようにしました。(第四号、第五号)	P.40 ~ 43
	「うさぎ」に関連して「十五夜」や「月見」についても説明し、我が国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.45
⑥せんりつ <small>の</small> 重なりをかんじとろう	合唱や合奏の活動を通して、友達と協力して活動する場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.46 ~ 51
⑦いろいろな音のひびきに親しもう	様々な金管楽器について知ることができるようにしました。(第一号)	P.52 ~ 55
	時間の流れに合わせて、いろいろな打楽器の音色を組み合わせる音楽をつくる学習活動を設定しました。(第二号)	P.58・59
⑧ちいきにつたわる音楽でつながろう	地域に伝わるお囃子を取り上げ、我が国の伝統文化に触れてそのよさを味わえるようにしました。(第五号)	P.60 ~ 63
	「神田囃子」の一部を唱歌で歌う活動を通して、我が国の伝統的な音楽により親しみをもてるようにしました。(第五号)	P.62
⑨思いを音楽で表そう	合唱や合奏の活動を通して、友達と協力して活動する場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.66 ~ 69
歌いつごう 日本の歌	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌うことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを通して、我が国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第四号)	P.70・71
みんなで楽しく	互いの歌声や楽器の音をよく聴き合って演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	p.72 ~ 81
国歌「君が代」	国歌「君が代」に歌われている「さざれ石」について知ることを通して、国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.86・87

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-85	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 304	小学生の音楽 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的な学びや協働的な学びの充実

●体の動きを伴った活動を通して、楽しみながら音楽を感じ取り、その活動を友達と共有することによって、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。

6 せんりつの重なりをかんじてしようしよう

せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましよう。

かしのせんりつの図形を指でたどったり、手を三指に動かしたりしてできながら、2つのせんりつが重なっている部分を見つけましょう。

●「かんじようのコース」と「歌のコース」
●「かんじようのコース」
●「歌のコース」
●「かんじようのコース」と「歌のコース」
●「かんじようのコース」と「歌のコース」

かんじしたこと (どんなかんじがしたか、自由に書く。)

気づいたこと (なぜ、そうかんじたのか、言葉が気づいたことを書く。)

かんじがしました。 からです。

① 図形楽譜を指でたどったり、3拍子に合わせて手を動かしたりしながら曲想をつかみ、友達と共有することを通して曲や演奏のよさなどについて考えます。

P.46・47

② リコーダーの音色への興味・関心を引き出せるように、ヘッドピースを使って自由に音遊びをするコーナーを設けました。

ヘッドピースで音あそび

●ヘッドピースと息を使って、音あそびをしましょう。ウィンドウの部分や、ミドルピースとつなぐ部分をとじたりあけたりして、いろいろな音を出してみましょう。

むかし、イギリスでは小さなふえで小鳥たちに歌を教えていたんだって。

ヘッドピースだけでも、音が出るんだね。とじ方をくふうして、鳥の声をまねてみようかな。

リコーダー(recorder)には、「小鳥のように歌うふえ」という意味もあるんだよ。

小鳥のために
作曲者不明

P.21

③ 教材と関連させながら、スモールステップの活動を積み重ねることで、音楽の力を育てる、「そだてよう」のコーナーを設けました。子どもたちはゲーム的な感覚で楽しみながら取り組むことができます。

ドレミと友だちになろう

① ドレミファソラシドの音符が、1つずつ書かれたカードをじゅんぴします。

② リーダーやぐが、カードを1まいずつしめしながら、「何の音？」と聞きます。

③ クラスのみんなはカードを見て、「ドレミファソラシド」でえんそうしましょう。

リーダー

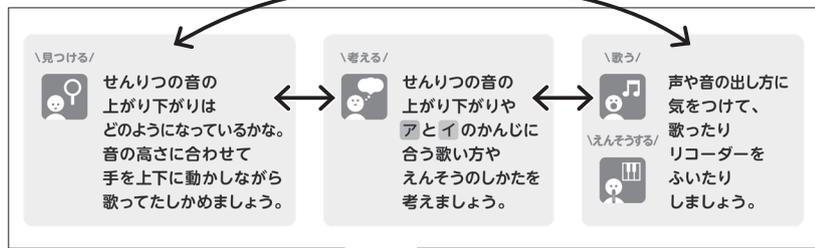
みんな

ドレミファソラシド

2 子どもたちの音楽的な見方・考え方がより働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容に関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。



題材名 せんりつのおとくちやかんじとさう

学習目標 せんりつ音の上がり下がり、どのようになっているかな。音の高さに合わせて手を上下に動かしながら歌ってたしかめよう。

【題材の最初のページ】 P.36・37

活動文

せんりつ音の上がり下がり、どのようになっているかな。音の高さに合わせて手を上下に動かしながら歌ってたしかめよう。

せんりつ音の上がり下がりやアとイのかんじに合う歌い方やえんそうのしかたを考えよう。

声や音の出し方に気をつけて、歌ったりリコーダーをふいたりしよう。

【題材の最後のページ】 P.44・45

この題材で何を学ぶのか、どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ

この題材で何を学んだのかを振り返り、これからの学習につなげるための内容を示しました。

「おもいだそう」コーナーの設置

以前学習したことをもう一度確かめ、その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

おもいだそう

リズムで
なかよくなるう
➔9ページ

P.34

3 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

- 楽譜や縦書き歌詞、活動文については、無地や単色の部分に配置するなど、読みやすさを確保しています。さらに、写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

背景と文字の色にコントラストを付けて、歌詞の視認性を高めています。



P.40・41

4 郷土の音楽を大切にできる心情を育てる教材

- 写真や説明文に加え、保存会の方からのコメントも紹介し、音楽に親しみをもてるようにしました。

神田囃子ほぞん会
たてのきくお
立野喜久雄さん



「神田囃子」は、東京都にある神田神社(神田明神)で行われる神田祭の祭りばやしです。
「投げ合い」は、おみこしをかついで町内を回るときにえんそうします。おみこしをかついでいる人たちをり上げる「投げ合い」のうきうきした気分を、みなさんもかんじとってください。

P.60

神田囃子ほぞん会
ほりえつよし
堀江剛さん



唱歌は、楽器のリズムや音のかんじを言葉で表したものです。わたしたちは、唱歌を歌ってリズムやせんりつをおぼえてから、楽器をえんそうします。
唱歌をくりかえし歌っていると、自然に曲のかんじをつかむことができます。みなさんも、いっしょに歌ってみましょう。

P.62

5 ICT 機器の活用への対応

- 全ての歌唱・器楽教材で、MIDIによる音源を聴くことができます。また、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツも準備しました。

二次利用
コピー
入りませ

学習にやくだつ音楽やしりようがウェブサイトにあります。

音楽をきくことができます。

資料を見ることができます。

P.6

6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的、協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.4・5)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土の音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりできるようにしました。(P.60～63)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語活動の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(p.77)
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふりかえりのページ」でも一覧できるようにしました。
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、学習に役立つ歌唱・器楽教材の MIDI 音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツを活用できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本・用紙	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。

2. 対照表

図書構成		学習指導要領の内容																
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材 / (共)…共通教材	歌唱			器楽					音楽づくり					鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ	ア	イ		ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	
						(ア)	(イ)											(ア)
8	ハッピーソング			○	○												○	
10	(共) 春の小川	○	○		○												○	○
12	(共) 茶つみ	○	○		○												○	
16	ドレミで歌おう			○	○			○	○								○	
18	海風きって	○	○	○	○	○	○		○	○							○	○
20～ 25	リコーダーの導入/ ◎ピタゴラスイッチ																○	○
27	きれいなソラシ							○	○								○	
28	坂道					○			○	○							○	
29	雨上がり					○			○	○							○	
30	ゆかいな木きん		○	○				○	○	○	○	○	○				○	○
32	あの雲のように					○	○	○		○							○	○
33	アチャ パチャ ノチャ					○	○	○		○							○	○
34	手拍子でリズム											○	○		○		○	
36	とどけよう このゆめを	○	○		○	○	○		○	○							○	
38	◎メヌエット																○	○
40	(共) ふじ山	○	○	○	○	○											○	
44	(共) うさぎ	○	○		○												○	
46	◎かね																○	○
48	歌おう 声高く	○	○		○												○	
50	メリーさんのひつじ					○	○	○		○	○						○	
52	◎トランペットふきの休日																○	○
56	パフ					○	○	○	○	○	○						○	
58	クロック ミュージック										○	○	○	○		○	○	
60	◎神田囃子「投げ合い」																○	○
64	ラドレの音でせんりつづくり										○	○		○			○	
66	帰り道	○	○	○	○	○											○	○
68	エーデルワイス					○	○	○	○	○	○						○	
70	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○											○	
72	ほしぞら	○	○	○	○	○											○	
73	おはよう おはよう	○	○	○	○	○											○	
74	にじ	○	○	○	○	○											○	
75	ゴー ゴー ゴー	○	○	○	○	○											○	
76	また あそぼ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
77	Head,Shoulders,Knees And Toes	○	○	○	○	○											○	
78	友だち	○	○	○	○	○											○	
78	よろこびの歌					○	○	○	○	○	○						○	
79	ゆかいなまきば					○	○	○	○	○	○						○	
80	ミッキーマウス マーチ					○	○	○	○	○	○						○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○											○	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-85	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 304	小学生の音楽 3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽に関わる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
85	ステップアップ 「さくら さくら」で 使われている音階	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(8)に関連して、音階の種類について、より知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.5 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容